

創業400年 本家永楽屋

手ぬぐいは、汗を拭ったり、頭に被ったり、進物や配りもの、商人たちの広告など、さまざまな場面で日本人に親しまれてきました。江戸時代には、風流人たちが趣向を凝らした手ぬぐいを持ち寄る「手拭合」が行われるようになるほど、日本人の美意識を刺激する文化として定着し、実用品としてだけではなく、美術品としても愛されてきました。

本展では、永楽屋が制作した江戸時代から昭和初期の手ぬぐいコレクションの中から、「昭和のモダンガール」をテーマにピックアップ。大正時代の終わり頃から昭和初期に現れたモダンガール。断髪・洋装・厚化粧、流行の髪型は「耳隠し」。膝丈の短いスカートを履いて銀座を歩く彼女たちは、女性の社会進出と自由主義の時代背景もたらした“新しい女性たち”でした。手ぬぐいの意匠を通して、当時の文化現象をご覧ください。

また、400年以上続く日本最古の綿布商・本家永楽屋が製作してきた歴史資料もお楽しみください。

2023年3月2日(木)～6月30日(金)

10:00～19:00 (入館は18:30まで)

入館料 一般 / 1,000円 (手ぬぐいチケット付き)
中高大 / 900円 (手ぬぐいチケット付き)
小学生 / 300円 (手ぬぐいチケット無)

昭和の モダンガール展

modern girl



京都市営地下鉄「烏丸御池」駅 徒歩3分

駐車場はございません。

当館へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。



〒604-8174 京都市中京区室町通三条上ル役行者町368

TEL:075-256-0077

<https://hosotsuji-ihee-museum.com/>

Instagram [hosotsuji_ihee_museum](https://www.instagram.com/hosotsuji_ihee_museum)

Twitter [@h_ihee_museum](https://twitter.com/h_ihee_museum)



昭和7年(1932)



昭和6年(1930)